

社会科学の基礎B		講義	准教授 黒沢 賢一	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養選択科目、スポーツトレーナーコースの教養選択科目		科目ナンバリング	11220117

1. 授業のねらい・概要

科学は社会科学，人文科学，自然科学に分けられるが，このうち社会科学は法学，政治学，行政学，社会政策，財政学，経済学などの総称で，社会の真理を探究する学問である。中学，高校では「公民」「公共」「政治経済」などの科目で学んだ知識が社会科学である。

「社会科学の基礎B」では，社会政策，財政学，経済学の基礎概念について学び，それらの知識をもとにますます複雑化している現代社会を見る眼を養っていくことを目的とする。また社会科学は公務員試験で出題される一般常識(知識)分野の重要科目であり，講義では試験に出るポイントも解説し，この授業だけで合格ラインをこえられる知識を修得できるようにする。

2. 授業の進め方

板書しながら解説する講義形式で進める。授業では知識を解説してだけでなく，その日の授業に関連する時事問題も積極的に取り上げ，理論と現実との懸け橋となれる講義をめざしていきたい。また公務員試験の過去問題も紹介していく。

3. 授業計画

1. ガイダンス（授業予定と注意事項） 〈社会政策〉	7. 国民所得と経済の変動
2. 社会保障と労働問題 〈財政学〉	8. インフレ・デフレと通貨
3. 財政と予算 〈経済学〉	9. 金融と日本銀行
4. 経済学の発達	10. 貿易と国際収支
5. 経済の発展と現代の市場	11. 国際経済
6. 企業と資本結合	12. 日本経済の発展
	13. 産業構造の高度化
	14. レポート課題の考察
	15. まとめ講義

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習は必要ないが，授業を受けた後はテキストと配布されたプリントを必ず読み直し，授業時に紹介された参考文献等があれば，それを読んでさらに理解を深めて欲しい。そのための復習時間は1～2時間程度，必要になる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義ノート，レポート提出後に評価のポイントなどを指摘する。

6. 授業における学修の到達目標

- (1)社会科学の基礎知識が理解できるようになる。
- (2)社会政策，財政学，経済学の基礎概念がわかるようになる。
- (3)時事問題について，自分の意見や考えを言えるようになる。
- (4)大卒レベルの警察官，消防官，市町村職員採用試験等の問題が解けるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

講義ノート(50%)とレポートの結果(50%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

- (1) 黒沢賢一著『社会科学の基本理論 大学教養講義ノート』（学術研究出版） 毎回必ず持参すること。
- (2) この他，必要なプリントを配布し，参考文献や受験教材等は授業の中で紹介する。

9. 受講上の留意事項

授業中は板書したことをしっかりノートにとり，また授業はただ聞いているだけでなく，説明された内容はメモを取りながら聞く習慣を身につけること。

授業中の私語やスマートフォン，イヤホン等の使用は認めない。

他の学生に迷惑となる教室内の秩序を乱す行為については厳しい態度で臨むので十分留意すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は地方議会における実務経験(市議会議員)を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。